

報道関係者各位

平成 26 年 3 月 5 日

## アバゴ・テクノロジー、第 2 世代の PM-QPSK コヒーレント・レシーバを発表

第 1 世代品の 1/3 のフットプリントで、100G のメトロ・ネットワークや  
200G/400G の長距離ネットワークにより多くの機能を提供

アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)は、本日、PM-QPSK (Polarization Multiplexed Quadrature Phase Shift Keying)コヒーレント・レシーバの第 2 世代品「AFCP-ICRX2CC」を発表しました。100G (Gbps) のメトロ・ネットワークや、200G/400G の長距離 DWDM (高密度波長分割多重方式) ネットワーク向けに設計された製品です。第 1 世代品と比較してより多くの機能を搭載しながら、サイズを 1/3 に抑えています。そのため、カラーレス・コヒーレント・ネットワークのトランシーバや光ライン・カードのさらなる小型化を図ることが可能になります。

AFCP-ICRX2CC は、入力監視用の統合型フォトディテクタ、可変光減衰器 (VOA)、信号用/局部発振器用の偏光スプリッタ、2 つの整合型光 90° ハイブリッド、25G に対応する 4 組の平衡型ディテクタ・ペア、4 つの差動型リニア TIA (トランス・インピーダンス・アンプ)、マニュアル/オートに対応するゲイン制御部で構成されます。これらすべてが、表面実装型の小型パッケージに収容されています。シングルチャンネル/マルチチャンネルの両方の信号に対して広いダイナミック・レンジを有していることから、高い OSNR (光信号対雑音比) を得ることができます。また、複数の信号が同時に存在し、シングルチャンネルでの動作よりも光入力電力がかなり高いアプリケーションにおいても、VOA の機能を活用することによって TIA への入力信号をより高度に制御することが可能です。さらに、外付けの局部発振器と併用すれば光フィルタの追加が不要になり、システムの将来のアップグレードをより柔軟に行ったり、システムのコストを低減したりすることができます。なお、AFCP-ICRX2CC は、OIF (Optical Internetworking Forum) の実装合意書である OIF-DPC-RX-01.2 に準拠しています。

### 製品の特徴

- 最高 32Gb/s のボー・レート
- 広い入力ダイナミックレンジ、THD (全高調波歪) は 5% 未満 (3mApp において)
- 10dB の信号減衰範囲
- 能動的な温度制御は不要
- Cバンド、Lバンド、C+Lバンドに対応
- -5°C ~ 80°C の動作温度範囲

アバゴで光コンポーネント製品のマーケティング担当ディレクターを務めるステファン・ロクスは、「第 2 世代の PM-QPSK コヒーレント・レシーバでは、当社が独自に開発した InP (リン化インジウム)、シリカ・オン・シリコン技術プラットフォーム、高度に自動化されたサブミクロン精度のアセンブリ・プラットフォームを活用することにより、最高レベルの集積度と小型化を実現しました。100G のメトロ・ネットワークと 200G/400G の長距離ネットワークに対応するべく、当社はコヒーレント・レシーバ技術の進化に向けて継続的に取り組みを行ってきました。AFCP-ICRX2CC は、その進化を具現化した製品です」と述べています。

## PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7  
青葉台ヒルズ7F  
www.avagotech.co.jp

また、Ovum 社で主席アナリストを務めるカレン・リュー氏は、「100G に対応するコヒーレント技術は、今日はもちろん、将来の 100G の導入においても、伝送ネットワークの主要な構成要素であることに間違いはありません。この技術の最も重要な価値は、100G のメトロ・ネットワークから 400G の長距離ネットワークにまで対応できることです。そうしたアプリケーションでは、例外なく小型化と多機能化が求められます。また、メトロ・ネットワークからコア・ネットワークに至るまで、あらゆるネットワーク・インフラではトラフィックの増加への対応を迫られています。アバゴの第 2 世代 PM-QPSK コヒーレント・レシーバは、100G のメトロ・ネットワークに対して最適化されているだけでなく、2014 年に市場に出る 400G の長距離ネットワークにも対応可能な、今まさに求められている要件に対応した製品だと言えます」とコメントを寄せています。

アバゴは、この AFCP-ICRX2CC を 3 月 11 日～13 日に米カリフォルニア州サンフランシスコで開催される展示会『OFC 2014』に出展します。アバゴのブース番号は 3160 です。

### 価格と供給

AFCP-ICRX2CC のサンプルはすでに提供されています。通常の販売は 2014 年 7 月に開始する予定です。価格については、アバゴ・テクノロジーの正規販売代理店までお問い合わせください。

AFCP-ICRX2CC の詳細については、以下のページをご覧ください。

[http://www.avagotech.co.jp/pages/en/fiber\\_optics/optical\\_components/photonic\\_ic\\_components/afcpicrx2cc/](http://www.avagotech.co.jp/pages/en/fiber_optics/optical_components/photonic_ic_components/afcpicrx2cc/)

### 製品画像



AFCP-ICRX2CC

## PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7  
青葉台ビルズ7F  
www.avagotech.co.jp



### アバゴ・テクノロジー社

日本法人：アバゴ・テクノロジー株式会社(本社：東京都目黒区、代表取締役社長：米山周)

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤです。当社の主力製品は、アナログ、ミクストシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、そして携帯電話／ワイヤレス・コミュニケーションの 3 つの主要マーケットに、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50 年前のヒューレット・パッカードに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト [www.avagotech.co.jp](http://www.avagotech.co.jp) をご覧ください。

# # #

Avago, Avago Technologies, A のロゴ、および Vortex Gearbox は、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

### 本件に関するお問い合わせ先(報道関係者)：

株式会社中外

松田 尚

TEL：03-3255-8411

[matsuda@chugai-ad.co.jp](mailto:matsuda@chugai-ad.co.jp)